

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立西が岡小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、平成30年度「全国学力・学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況等の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査期日

平成30年4月17日(火)

3 調査対象

小学校 第6学年(国語A・B, 算数A・B, 理科, 児童質問紙)

中学校 第3学年(国語A・B, 数学A・B, 理科, 生徒質問紙)

4 本校の参加状況

① 国語A	56人	国語B	56人
② 算数A	56人	算数B	56人
③ 理科	56人		
④ 児童質問紙	57人		

5 留意事項

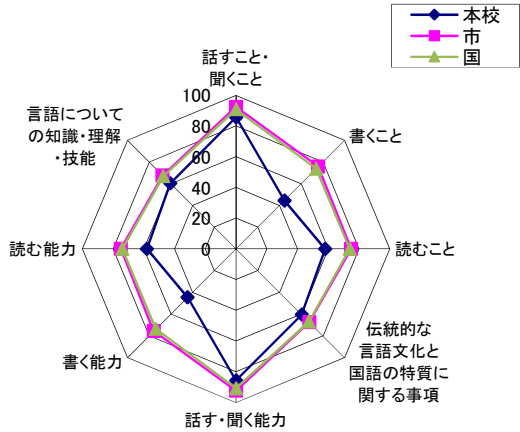
- (1) 本調査は、対象となる学年が限られており、実施教科が国語、算数、理科の3教科のみであることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部分であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

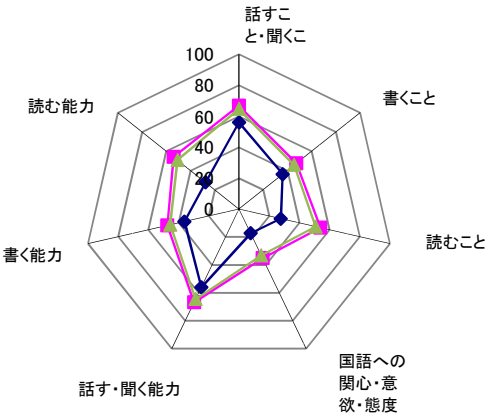
【国語A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	85.7	92.4	90.8
	書くこと	44.6	75.7	73.8
	読むこと	58.0	74.9	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	60.5	67.5	67.0
観点	国語への関心・意欲・態度			
	話す・聞く能力	85.7	92.4	90.8
	書く能力	44.6	75.7	73.8
	読む能力	58.0	74.9	74.0
	言語についての知識・理解・技能	60.5	67.5	67.0



【国語B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域等	話すこと・聞くこと	56.0	66.8	64.6
	書くこと	36.1	47.4	45.6
	読むこと	27.7	54.0	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項			
観点	国語への関心・意欲・態度	17.3	35.2	33.2
	話す・聞く能力	56.0	66.8	64.6
	書く能力	36.1	47.4	45.6
	読む能力	27.7	54.0	50.8
	言語についての知識・理解・技能			



★指導の工夫と改善

●課題が見られるもの

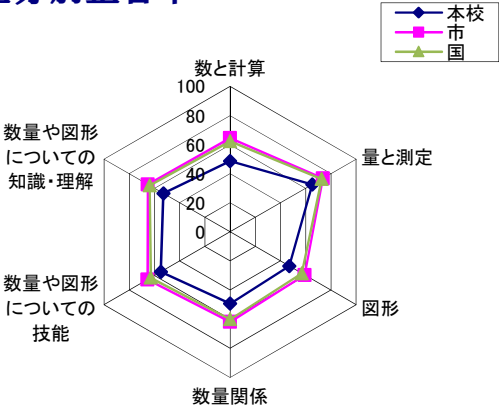
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
話すこと・聞くこと	●国語Aの本校の平均正答率は85.7%、全国の平均正答率は90.8%で、5.1ポイント下回った。 ●「これから言葉をどのように使っていきたいかについて、二人のいずれかの意見を取り上げて自分の考えをまとめる」問題の正答率は、本校23.2%、全国33.8%で、10.6ポイント低い。また、同じ問題の無回答率は、本校26.8%、全国6.2%で、20.6ポイント高い。	・話し合い活動や友達の発表を聞く際に、相手の伝えたいこと、共通点、相違点の三つの観点を整理して話が聞けるよう重点的に指導を行う。
書くこと	●国語Aの本校の平均正答率は44.6%、全国の平均正答率は73.8%で、29.2ポイント下回った。 ●「伝記の一部を読んで、最も心がひかれた一文とその理由の文章をあとの条件に合わせて書く」問題の正答率は、本校23.2%、全国52.3%で、29.1ポイント低い。また、同じ問題の無解答率は、本校41.1%、全国11.9%で、29.2ポイント高い。	・伝記や物語の中でのポイントとなる文章を見つけ、なぜその一文が重要なものとなるのかを、読み取りの中で確認していく。また、国語の授業に限らず、なぜ自分はそう考えるのかという理由について書くことを日々の授業で行っていく。
読むこと	●国語Aの本校の平均正答率は58.0%、全国の平均正答率は74.0%で、16.0ポイント下回った。 ●「オムレツを作ったあとの感想を踏まえ、オムレツのページをどのように読めばよいか、適切なものを選択する」問題の正答率は、本校55.4%、全国73.9%で、18.5ポイント低かった。	・音読をするときに大切なところに線を引いたり、資料を読み取る際に資料がどのように活用されているかを確認したりして、読む力を伸ばすよう指導を行っていく。
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	●国語Aの本校の平均正答率は60.5%、全国の平均正答率は67.0%で、6.5ポイント下回った。 ●「春休みの出来事の一部の中で、つながりが合っていない文を選択し、正しく書き直す」問題の正答率は、本校17.9%、全国35.5%で、17.6ポイント低かった。	・文を文節に分けて主語と述語を見つけていくなど、文の中の主語と述語の関係を正しく理解できるよう、普段の授業の中で文節の働きについて指導していく。 ・漢字を書く問題は全国とほぼ同じ正答率のものもあった。引き続き、朝の学習や自主学習を通して、漢字の学習に取り組ませる。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

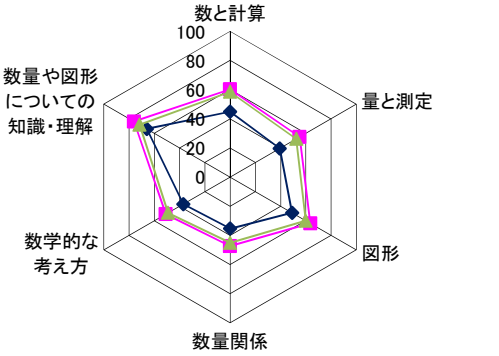
【算数A】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	48.6	64.5	62.3
	量と測定	65.2	73.6	72.7
	図形	47.0	59.1	56.9
	数量関係	49.3	61.8	60.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方			
	数量や図形についての技能	55.0	65.5	63.0
	数量や図形についての知識・理解	53.0	65.3	63.8



【算数B】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	数と計算	44.9	60.2	58.4
	量と測定	39.3	55.0	52.4
	図形	49.1	63.5	59.9
	数量関係	35.4	47.3	45.1
観点	算数への関心・意欲・態度			
	数学的な考え方	37.1	51.0	49.2
	数量や図形についての技能			
	数量や図形についての知識・理解	66.1	76.2	71.7



★指導の工夫と改善

●課題が見られるもの

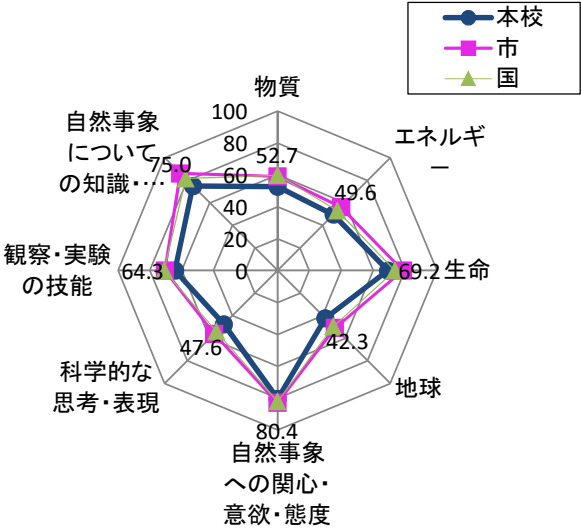
分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	●算数Aの本校の平均正答率は48.6%, 全国の平均正答率は62.3%で, 13.7ポイント下回った。 ●「答えが$12 \div 0.8$の式で求められる問題を選ぶ」問題の正答率は, 本校23.2%, 全国39.9%で, 16.7ポイント低かった。	・除法の意味と計算の仕方を正しく理解できていない傾向が見られる。計算の仕方をしっかりと復習させるとともに, ドリル学習や家庭学習等を通して継続的に計算練習を行っていく。 ・どの言葉からどんな式になるかを言語化させたり, 立式した式の意味を説明させたりする機会を増やしていく。
量と測定	●算数Aの本校の平均正答率は65.2%, 全国の平均正答率は72.7%で, 7.5ポイント下回った。 ●「分度器の目盛りを読み, 180° よりも大きい角の大きさを求める」問題の正答率は, 本校48.2%, 全国58.5%で, 10.3ポイント低かった。	・分度器を使って角度を測ったり角をかいたりする復習問題に朝の学習等を通して取り組ませる。 ・実際に測定したり調べたりする活動を重視した授業を展開することで, 理解の定着を図っていく。
図形	●算数Aの本校の平均正答率は47.0%, 全国の平均正答率は56.9%で, 9.9ポイント下回った。 ●「一つの点の周りに集まった角の大きさの和が360° になっていることを, 着目した図形とその角の大きさを基に書く」問題の正答率は, 本校32.1%, 全国48.2%で, 16.1ポイント低かった。	・図形の構成要素や角の大きさについての復習問題に取り組ませ, 理解の定着を図る。 ・機会を見つけて応用問題にも触れさせ, 苦手意識を克服していく。
数量関係	●算数Aの本校の平均正答率は49.3%, 全国の平均正答率は60.1%で, 10.8ポイント下回った。 ●「針金1mの重さを求める式を選ぶ」問題の正答率は, 本校44.6%, 全国65.3%で, 20.7ポイント低かった。	・1に当たる大きさを求める問題で課題が見られるため, 実際の生活の場面と関連させながら繰り返し問題に取り組ませる。 ・割合の復習問題に取り組ませる。比べる量と基にする量をきちんと区別できるように, 実際に何を基準に何を比べているのかを考えさせていき, 苦手意識を取り除けるよう指導する。

宇都宮市立西が岡小学校第6学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の国、市と本校の状況

【理科】

分類	区分	本年度		
		本校	市	国
領域	物質	52.7	59.0	59.8
	エネルギー	49.6	56.4	53.1
	生命	69.2	78.6	73.6
	地球	42.3	50.9	49.5
観点	自然事象への関心・意欲・態度	80.4	82.9	82.1
	科学的な思考・表現	47.6	56.1	54.1
	観察・実験の技能	64.3	70.6	71.1
	自然事象についての知識・理解	75.0	86.2	81.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
物質	●「海水と水道水を区別するために、2つの異なる実験方法から得られた結果を基に判断した内容を選ぶ」問題の正答率は、本校82.1%、全国89.4%で、7.3ポイント低かった。 ●「食塩水を熱したときの食塩の蒸発について、実験を通して導きだす結論を書く」問題の正答率は、本校28.6%、全国35.9%で、7.3ポイント低かった。	・実験を多く取り入れたり、根拠を明確にして丁寧に説明をしたりすることで、科学的な思考や表現の力が身に付けられるようにしていく。
エネルギー	○「風が吹く方向を変えるためにモーターの回転が逆になる回路を選ぶ」問題の正答率は、本校66.1%、全国63.5%で、2.6ポイント高かった。 ●「回路を流れる電流の向きと大きさについて、実験結果から考え直した内容を選ぶ」問題の正答率は、本校46.4%、全国59.4%で、13.0ポイント低かった。	・実験を行う際は、事前の予想や仮説をしっかりと考えさせる。 ・観察のポイントや実験の意味をしっかりと抑えることで、観察や実験の技能が高められるようにする。
生命	○「腕を曲げることのできる骨と骨のつなぎ目を表す言葉を書く」問題の正答率は、本校82.1%、全国79.4%で、2.7ポイント高かった。 ●「鳥の翼と人の腕のつくりについてのまとめから、どのような視点を基にまとめた内容なのかを選ぶ」問題の正答率は、本校62.5%、全国76.2%で、13.7ポイント低かった。	・科学的な事象を日常生活と結び付ける場面を意識的に多く取り入れることで、知識や理解が確実に身に付けられるようにする。
地球	●「流されてきた土や石を積もらせる水の働きを表す言葉を選ぶ」問題の正答率は、本校67.9%、全国83.6%で、15.7ポイント低かった。 ●「上流側の雲の様子や雨の降っている所と下流側の川の水位の変化から、上流側の天気と下流側の水位の関係について言えることを選ぶ」問題の正答率は、本校46.4%、全国59.8%で、13.4ポイント低かった。	・実験を行う際は、事前の予想や仮説をしっかりと考えさせる。 ・観察のポイントや実験の意味をしっかりと抑えることで、観察や実験の技能が高められるようにする。

宇都宮市立西が岡小学校 第6学年 児童質問紙

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○「自分には、よいところがあると思いますか」の質問で肯定的な回答の割合は、本校89.4%、全国84.0%で、5.4ポイント上回っている。これまで同様、今後も児童の自己肯定感を高められる指導を続けていきたい。

○「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」の質問で肯定的な回答の割合は、本校93.0%、全国85.3%で、7.7ポイント上回っている。引き続き、児童のことをよく観察し、よいところを認め、指導していきたい。個々の児童のよさを認めながら、クラスの中に自分の居場所があると感じられる環境づくりに努めたい。

○「家で、学校の宿題をしていますか」の質問では、全ての児童が肯定的な回答をした。今後は児童の宿題に対する意識を保ちつつ、更なる意欲の向上を図り、充実した自主学習の実践につなげていきたい。

○「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」の質問で、「当てはまる」と回答した児童の割合は、本校94.7%、全国88.5%で、8.8ポイント上回っている。今後は、全ての児童が肯定的な考えをもてるよう、いじめは絶対に許されないことを、引き続き徹底的に指導していきたい。

●「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」の質問で、「1時間以上勉強する」と回答した児童の割合は、本校45.6%、全国66.2%で、20.6ポイント下回っている。予習・復習の重要性を伝え、「リレー自主学習」など自主学習の具体的な提案をすることで、児童を支援していきたい。

●「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の質問で、「全く読書をしない」と回答した児童の割合は、本校40.4%、全国18.7%で、21.7ポイント上回っている。読書週間中の取り組みや朝の読書活動を通して、児童の興味・関心を高め、家庭での読書を奨励していきたい。

●「理科の授業では、理科室で観察や実験をどのくらい行いましたか」の質問で、「月1回以上」と回答した児童の割合は、本校66.6%、全国89.1%で、22.5ポイント下回った。以前は、理科室の利用状況によって、教室に器具を持ち込み、観察や実験をすることが度々あった。今後は、理科室の空き状況を踏まえて、計画的に授業を進め、今まで以上に理科室利用を推進していく。

宇都宮市立西が岡小学校（第6学年） 学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
国語科を中心とし、自分の言葉で文章にまとめる指導の充実	・学校課題に基づき校内研修を行い、「書くこと」の指導事項である構成や記述に焦点を当てて指導方法を工夫する。 ・授業の最後に、学習したことを振り返る時間を確保し、本時で分かるようになったことやできるようになったことを文章で書く活動を多く取り入れる。	・「伝記の一部を読んで、最も心がひかれた一文とその理由の文章をあとの条件に合わせて書く」問題の正答率は23.2%で、全国平均より29.1ポイント下回っている。また、同じ問題の無解答率は44.1%で、全国平均より29.2ポイント低い。
算数：基礎的事項を確実に理解させる指導の充実	・特に正答率の低かった問題については、各学年で朝の学習や家庭学習などで繰り返し復習させる。 ・何倍かを求める問題、1に当たる大きさを求める問題で課題が見られるため、実際の生活の場面と関連させながら繰り返し問題に取り組ませる。	・「答えが $12 \div 0.8$ の式で求められる問題を選ぶ」問題の正答率は、23.2%で、全国平均より16.7ポイント下回っている。 ・「針金1mの重さを求める式を選ぶ」問題の正答率は44.6%で、全国平均より20.7ポイント下回っている。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
「学校の授業時間以外に、普段1日当たり1時間以上勉強をしている」と回答している児童は、45.6%で、全国平均より20.6ポイント下回っている。	自主的に学習に取り組む態度の育成 家庭学習の充実	・「リレー自主学習ノート」を作ることで、自主学習の活性化を図るとともに、友達の取り組みを参考にできるようにする。 ・12月の学校公開日や個人懇談で、各学級で取り組んでいる「リレー自主学習ノート」や、参考となる自主学習ノートのコピーを掲示し、保護者に紹介する。